

## 1 児童の実態

### (1) 学習状況調査結果の推移

| H29 入学<br>現 6 年生 | 国語          |             | 算数          |             | 理科          |             |
|------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
|                  | 5 年時        | 6 年時        | 5 年時        | 6 年時        | 5 年時        | 6 年時        |
|                  | 県<br>(12 月) | 全国<br>(4 月) | 県<br>(12 月) | 全国<br>(4 月) | 県<br>(12 月) | 全国<br>(4 月) |
|                  | 6 1 . 9     | 6 5 . 0     | 4 4 . 3     | 6 3 . 0     |             | 6 3 . 0     |
|                  | ( 1 . 0 5 ) | ( 1 . 0 1 ) | ( 1 . 0 4 ) | ( 1 . 0 2 ) |             | ( 1 . 0 2 ) |
| R 4 正答率の全国比      |             | 0 . 9 9     |             | 0 . 9 9     |             | 0 . 9 9     |

◎ 5 年時は佐賀県学習状況調査、6 年時は全国学力・学習状況調査の推移。

◎ 上段は平均正答率、下段( )は県平均を 1 としての比較。

◎ 「令和 4 正答率の全国比」は全国平均を 1 としての比較。

### (2) 学習状況調査・意識調査から読み取れる実態

#### 【国語】

- ・ 5 年時から 6 年時の推移を見ると、5 年時との比較では 0.04 ポイント下がっているが、6 年時の結果は県平均より 0.01 ポイント高く、全国平均を 0.01 ポイント下回る結果であった。
- ・ 漢字や言語文化に関する事項については全国、県平均を大きく上回っている。
- ・ 話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉えるなど「話す・聞く」の事項が県・全国平均を下回った。

#### 【算数】

- ・ 5 年時から 6 年時の推移をみると、5 年時との比較では 0.02 ポイント下がっているが、6 年時の結果は県平均より 0.02 ポイント高く、全国平均を 0.01 ポイント下回った。
- ・ 比例・最小公倍数・表の意味の理解を問う問題が平均を上回っていた。問われていることを的確に理解して答えることができている児童が多い。
- ・ 割合（百分率）の正答率が県・全国平均を大きく下回った。

#### 【理科】

- ・ 県平均と比較すると 0.02 ポイント上回り、全国平均を 0.01 ポイント下回る結果であった。
- ・ 問題を的確に把握し、実験の過程や得られた結果を適切に判断するなど、「思考・判断・表現」の観点で県・全国平均を上回った。
- ・ 実験器具名に関することや、昆虫の体のつくりに関する問題など、「知識・技能」の観点が県・全国平均を下回った。

#### 【意識調査】

- ・ 規範意識が高く（いじめは許されない、各教科の学習は大切であるなど）将来の夢や希望を持っている児童が多い。
- ・ 自然に親しむ姿勢や地域の行事に積極的に参加している児童が、県・全国よりも多かった。
- ・ 自己有用感と大人に相談しようという気持ちが低い。
- ・ 家庭での学習時間が少なく、生活や学習を計画的にしていない。
- ・ ゲームや動画視聴などのメディア遊びの時間が、県・全国平均よりも長かった

## 2 改善に向けた具体的な取組

### (1) 授業づくり、指導方法の改善・充実のための重点取組

- (1) 各教科で話し合う活動の経験を増やし、質問する力や自分の考えをまとめる力を身に付ける。
- (2) 算数では、テープ図や線分図を自分でかく指導を継続的に実施する。
- (3) 日常の授業で、資料や実験結果の記録から考察する際に、児童から自分の考えを引き出し、吟味させる時間を確保する。

### (2) (授業以外) 児童・生徒の課題改善のための重点取組

- ・実態（家庭学習の短さ、ゲームや動画視聴等の長さ）を保護者に伝えて、家庭の協力を得ながら生活習慣の向上を図る。→生活学習計画表などの作成、実施。
- ・語彙力、読解力をつけるために、読書活動を推進する。（学校図書館利用を取り入れた活動を増やす）
- ・理科への関心を高めるための、環境整備や情報及び話題の提供。